

令和 7(2025)年度

名桜大学大学院 国際文化研究科
国際文化システム専攻（修士課程）
入学試験問題（10 月試験）

小 論 文

（一般選抜・外国人留学生特別選抜）

注 意 事 項

- 1 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
- 2 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
- 3 解答時間は、90 分である。
- 4 字数は、1,000 字以内とする。

国際文化、国際観光産業（右ページ）の2つの領域に関する設問の中から、志願する領域の問題について答えなさい。

なお、国際観光産業領域を志願する者は、①か②を選択すること。

国際文化領域

歴史上のある出来事についての認識（歴史認識）は人によって、あるいは国によって異なることがある。そのため、歴史認識の違いが論争や様々な問題を引き起こすことがある（歴史認識問題）。日本国内に、あるいは日本と外国との間に、どのような歴史認識をめぐる論争や問題が存在するのかについて具体例を挙げた上で、その解決に向けて大学や研究者には何ができると思うか、あなたの考えを述べなさい。

国際観光産業領域

- ① 観光は単なる娯楽やレジャーの枠を超え、地域社会や経済、文化、環境に深い影響を与える重要な分野となっている。特に、現代社会において観光学は多様な学問分野の知識やアプローチを統合する学際的な分野としての役割を果たしている。観光目的地の開発や観光政策の立案には、社会、文化、経済、環境などの側面をバランス良く考慮する必要があり、そのためには多角的な視点からの分析と提言が求められる。

こうした背景から観光学を総合科学として捉え、さまざまな学問分野の知見を融合して取り組む意義について論じなさい。

- ② 訪日外国人に向けた商品やサービス等の価格を、自国民向け価格よりも、自治体や事業者が高く設定することを「二重価格」という。

海外では、例えば、インドのタージマハルやペルーのマチュピチュ、エジプトのピラミッド等で、同様の「二重価格」が導入されている。タージマハルでは、外国人の入場料はインド人の 20 倍以上だという。

日本の自治体でも、例えば、兵庫県姫路市において、世界遺産である姫路城の入場料につき「二重価格」の検討を姫路市長が 2024 年 6 月に表明した。また、同月から、京都市でも、京都駅と人気観光地とを結ぶ観光特急バスの運行が始まったが、運賃は通常の 2 倍となっている。

このような訪日外国人を対象とした「二重価格」について、賛成・反対の両論にも言及しながら、あなたの考えを述べなさい。